

# 令和6年度 第60回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会

## バレーボール 実施要項

- 1 主 催 近畿高等学校体育連盟 京都府教育委員会 京都市教育委員会
- 2 後 援 滋賀県教育委員会 奈良県教育委員会 和歌山県教育委員会  
大阪府教育委員会 兵庫県教育委員会  
京都府高等学校定時制通信制教育振興会 京都府バレーボール協会
- 3 主 管 京都府高等学校体育連盟
- 4 期 日 令和6年10月27日(日)
- 5 会 場 京都府立山城総合運動公園(太陽が丘)体育館  
〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷1番地 電話(0774)24-1313
- 6 競技種目 団体 男子・女子
- 7 競技日程  
(1) 開 始 式 10時00分 (競技服装で9時55分に集合)  
(2) 競技開始 10時30分  
(3) 閉 会 式 決勝戦終了後
- 8 競技規則  
令和6年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
ただし、ネットの高さは、男子2.35m、女子2.15mとする。  
また、使用球は全国大会に準ずる。  
(男子:ミカサV300W, 女子:モルテンV5M5000)
- 9 競技方法  
(1) 男女とも学校対抗とする。  
(2) トーナメント方式3セットマッチで行い、3位決定戦は行わない。大会参加が3校の場合はリーグ戦で行う。  
(3) 棄権があった場合は、競技を繰り上げて進行する。また、進行上、コート変更をすることがある。  
(4) 同一チームの試合が連続する場合は、15分の休憩を設ける。  
(5) 大会参加選手、選手番号の変更及び監督・コーチ・マネージャーの変更は監督会議までに所定の用紙で届け出ること。

## 10 参加資格

- (1) 近畿各府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の定時制・通信制課程の生徒であること。
- (2) 近畿各府県予選会、または高等学校体育連盟該当専門部において、選抜または選考されたチームであること。
- (3) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

## 11 参加制限

- (1) 男女とも各府県から2校出場することができる。
- (2) ただし、参加チームが少ない場合には、各府県専門委員長の協議により、各府県3チーム目の出場を要請することがある。
- (3) チーム編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以内とする。但し、監督は当該校の引率責任者を兼ねた教員とし、マネージャーは当該校の教職員または生徒とする。
- (4) 出場回数は4回を限度とする。ただし、3年課程においては3回とする。

## 12 参加申込

### (1) 申込書類

- ア 大会参加申込書
- イ 参加料等納入明細書・銀行振込書コピー
- ウ 府県予選会成績一覧表（男女別 各1部）

### (2) 申込方法

- ア 所定の様式により、申込先（競技事務局）へ郵送すること。  
なお、（申込書類[ア]）のデータをメールで送信すること。
- イ 参加状況を加盟府県高等学校体育連盟 事務局へ報告すること。

### (3) 申込先

第60回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会事務局  
バレーボール競技 京都大会事務局  
〒601-8449 京都市南区西九条大国町1  
京都府立鳥羽高等学校定時制 上原 大和 宛  
TEL (075) 672-8481 FAX (075) 672-8491  
Mail [y-uehara-21@kyoto-be.ne.jp](mailto:y-uehara-21@kyoto-be.ne.jp)

- (4) 申込期限 令和6年 9月 25日（水）必着

### 13 参加料

(1) 参加料 団体 1チーム 4,000円

#### (2) 納入方法

ア 参加申込みと同時に下記口座に振り込むこと。

イ 振込口座

銀行	京都銀行	伏見支店	(192)
預金種目	普通		
口座番号	4038700		
口座名義	近畿高校定通大会バレーボール事務局		
会計代表	山森	晋	(ヤマモリ シン)

ウ 依頼人は必ず最初に「府県名・学校名・性別」を記してください。

(記入例：〇〇府・県 〇〇高校 男・女)

また、銀行振込書のコピーを必ず参加料等納入明細書とともに申込先（大会事務局）へ郵送すること。振り込み手数料は、各校でご負担をお願いします。

### 14 表彰

男女別優勝校には杯（ただし、持ち回り）と賞状を授与する。2位、3位入賞校には賞状を授与する。

### 15 宿泊・弁当

宿泊・弁当の斡旋は行わない。

### 16 組合せ

令和6年6月14日（金）に行われる本大会打合わせ会において、近畿各府県専門部委員長が出席して行う。男女ともシードは、前年度優勝・準優勝の府県に与える。

### 17 諸会議

監督会議 令和6年10月27日（日） 9時30分から（大会本部にて）

## 18 連絡事項

- (1) プログラムの無償配付は、男女別出場校に2部とする。  
なお、プログラムが2部以上必要な場合は、京都府高等学校体育連盟のサイトにて掲載しますので、そちらから各校で印刷すること。(URL : <http://kyoto-koutairen.com/>)
- (2) 競技中の疾病、傷病などの応急処置は主催者において行うが、その後の責任は負わない。  
なお、参加者は、健康保険証を持参すること。
- (3) 公式記録は、京都府が行う。なお、線審、得点補助員は、第1試合では、そのコートの第3試合のチームが担当し、第2試合以降は、そのコートの前試合の敗者チームが担当する。
- (4) 引率責任者は、選手の全行動に対して責任を持つものとする。
- (5) 別紙「競技・審判上の注意事項」を読み、確認しておくこと。
- (6) 貴重品は各参加校で管理すること。
- (7) 競技場周辺には、飲食店が少ないので、ご留意願います。
- (8) 問合わせ先 「12 参加申込 (3) 申込先」に同じ。

## 19 その他

個人情報及び肖像権に関する取り扱いについては、別紙「近畿高等学校体育連盟が開催する大会・諸事業における個人情報及び肖像権に関する取り扱いについて」に定めるとおりとする。

## 競技・審判上の注意事項

1. 競技は、令和6年度版（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則によって行います。  
ただし、リベロプレイヤーの取り扱いは、全国高体連バレーボール専門部の通達により実施し、ネットの高さは、男子2.35m、女子2.15mとし、競技はすべて3セットマッチとします。
2. 競技者の変更・番号変更及び監督・コーチ・マネージャーの変更は、監督会議までに所定の用紙で届け出てください。プログラムの訂正も同様に提出してください。
3. 前の競技終了後、直ちに公式プロトコールに入りますので、該当チームは待機してください。プロトコール終了後にチームが試合できない場合は棄権となり負けとなります。
4. 棄権チームがあった場合には競技を繰り上げて行います。また進行上、コートに変更がある場合もあります。同一チームの試合が連続する場合は、15分の休憩を設けます。
5. 監督・コーチ・マネージャーは、監督章・コーチ章・マネージャー章を左胸に付けます。  
監督・コーチの服装については清楚に心がけ、マネージャーについては選手と同じか、監督に準じてください。
6. ベンチに入れるのは監督・コーチ・マネージャー各1名と選手14名の合計17名以内です。ベンチに危険な物の持ち込みを禁止します。（ガラスのビンなど）
7. 競技者のジャージ・パンツはチームで統一され、清楚で同一色の物で、競技規則に定められた選手番号（1から14の一連の数字が望ましい）を付けます。なお、ユニフォームは明らかに色の異なった2着を、できる限り用意してください。選手の靴とソックスについてもできる限り統一してください。
8. ユニフォームには必ず学校名を表記し、個人名が入っていない物を着用してください。  
パワーパンツは禁止します。
9. トスは前の試合終了後、審判員立ち会いのもとチームキャプテンが記録席前で行います。

10. トス終了後、直ちに公式練習に入ります。公式練習後、選手全員エンドラインに並び、挨拶後、スターティングメンバーがコートに残り、試合開始となります。
11. 各セットの開始時には、選手はエンドラインに整列せず、ベンチより直接コートに入ります。セット終了後、6人のプレーヤーは一度エンドラインに整列し、主審の合図に従ってチェンジコートし、支柱を超えたら直接自分のベンチに戻ります。
12. 3セット目の13点になったときは、6人のプレーヤーはエンドラインに整列することなく主審の合図に従い向かって右の支柱の外側を通り、コートを交換します。
13. 公式練習は、最初のサーブ権を得たチームから3分間ずつ行います。なお、合同で6分間行うときは主審に連絡してください。公式練習には、エントリーされた者以外は、参加できません。
14. 競技中は常にフェアプレーに徹し、反則した選手は主審に向かって手を挙げます。また、審判員を誹謗する言動、相手チームに対しスポーツマンシップに反する言動を行ったときは、「警告」または「反則」、場合によっては「退場」・「失格」を科せられることがあります。
15. 競技中のタイムアウト・競技者の交代は、監督・ゲームキャプテンのみが公式のハンドシグナルを示すことによって要求することができます。競技者交代の要求を行うときは、交代する競技者は速やかに交代できるように待機します。また、コート内の競技者も手を挙げ、番号を審判員に明示し、副審の指示を持って交代します。
16. 競技中は、審判員の許可なく勝手にベンチを離れてはいけません。ウォームアップのためベンチを離れるときは、ボールの使用はできません。
17. 競技は1つのボールで行います。ボールがデッドになったら、速やかに相手コートに転がして返球します。またコート外のボールは競技者が取りに行きます。

18. 競技中に汗などで床が濡れたときは、コート上の競技者が速やかにタオルで拭きます。  
このとき、競技者は集まって話をしたりしてはいけません。床拭き用タオルはチームで用意してください。タイムアウトの時や、セットの間には、チームでモップをかけてください。
19. 全国瞬時警報システム（Jアラート）等を通じて緊急情報が発信され、競技が中断された場合の再開方法については、日本バレーボール協会が定める令和6年度版6人制競技規則に準じます。但し、前述規則に準じ再会することで大会運営に支障が生じる場合は、各府県専門部委員長による協議の上、大会運営に支障がない範囲で競技を再開します。
20. その他、会場での特別の指示・連絡がある場合には、その会場の係りの指示に従ってください。
21. 体育館内の電源コンセントは使用禁止になっています。
22. ゴミは各チームで持ち帰ってください。
23. 体育館周辺でのボールを使った練習は禁止します。